

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド 2012年度事業報告書
2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)

【2012年度事業の取組の概要】

1. 法人設立10周年記念事業

- (1) 設立10年・記念冊子の作成のため、プロジェクトチームを組織し、取材・原稿作成に着手した。
- (2) 設立10年・記念事業に、向けた企画の検討や助成申請等を実施した。

2. 会員の募集事業

- 正会員82名、準会員101名、子ども応援会員167名・組織(自動払込会員47名含)
(2013年3月末現在)

3. 寄付の募集事業 寄付金総額 3,337,485円(H24年度)

4. NPO助成事業

4-1 神奈川子ども未来ファンド助成事業の実施

- (1) 2012年度助成贈呈式・報告会の開催(2012年5月27日開催)
- (2) 2012年助成対象団体への技術支援(2012年助成対象で支援を希望した団体はなかった)
- (3) 2013年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催
- (4) 2013年助成対象団体の選考と助成(11団体、助成総額3,290,000円。含む震災支援助成)

4-2 東日本大震災への特別助成の実施

- 2013年も引き続き東日本大震災の被災者を支援する事業を対象とした「震災支援助成」を実施し、助成を行った。(5団体 助成額 1,310,000円)

5. 啓発事業

- (1) 朗読劇「ハッピーバースデー」2012横須賀公演を開催(2012年11月10日)した。
観客数 1,457名 運営ボランティア 80名
- (2) 講演会や委員会への参加・協力

6. ネットワーク事業

- 市民ファンド推進連絡会への参加・協力等

7. 調査研究事業

- 今年度は、体制が整わず実施せず。

8. 広報事業

- (1) 東日本大震災の避難者へ県内の子ども・若者支援、子育て支援NPOの支援情報収集と発信
- (2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信
- (3) ファンドの英文WEBページの作成、WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営
- (4) 広域への情報発信・PR活動(テレビ等での広報7件、新聞タウン誌等報道16件、イベント等参加9件)
- (5) NPOの情報発信支援

9. 組織運営

- (1) 通常総会、理事会(5回)、理事推薦委員会(5回)、運営委員会(17回)の開催
- (2) 若者によるイベントチームの活動
- (3) 若者の社会体験ボランティアの受入れ

1. 法人設立10周年記念事業

2003年4月に神奈川県子ども未来ファンドが、NPO 法人として設立され今年で10年目を迎えています。設立後、多くの市民からの支持を受けて、活動を展開しています。来年度は、10周年の節目の年を迎え、これまでご支持いただいた市民、企業、行政等に感謝をするとともに、子ども未来ファンドの趣旨を広く PR するには絶好の機会ですので、法人設立10周年事業を実施します。今年度は、その準備期間として10周年記念冊子の作成に着手しました。

2. 会員の募集

神奈川県子ども未来ファンドの運営を安定させるため、会員の拡大に努めました。その結果、新規会員を得ることができましたが、更新手続きを行わない会員もあったので、結果的に、会員数は増加しませんでした。

条例指定NPO法人制度の創設に伴い、川崎市の条例指定NPO法人に申請し、川崎市民からの寄付に対する個人市民税も寄付金控除の対象となりました。なお、相模原市は認定NPO法人に対する寄付金控除を認めていますので、申請の必要はありません。

また、利用額の0.3%が寄付されるクレジットカード(JACCS CARD Link)の取り組みを行いました。

【2013年3月31日時点の会員数】

正会員 82名 (前年度77名)
準会員 101名 (前年度66名)
子ども応援会員 167名・組織 (前年度175名 自動払込会員47名含)

3. 寄付の募集・受け入れ

(1) 2012年度の寄付受け入れに関する各種協力

企業、業界団体からのご寄付のうち、特に職域での親睦会時の募金活動や歳末募金、また、横浜 Wai! Wai! フェスタやヨコハマ・アコースティック・フェスティバルなどのイベントにおける募金活動など、たくさんの方々の応援や熱い思いの集まりを感じることができました。

(2) 各種寄付プログラム実施と寄付の受け入れ

◆一般寄付金総額 : 3,298,103円 (前年比 △928,791円)
◆ファンド支援寄付金総額 : 39,382円 (前年比 +6982円)
◆協賛金総額 : 2,911,000円 (前年比 +939,200円)
◆寄付協力組織数 : 延39企業・団体等
◆協力個人数 : 延102名

【一般寄付金の内訳】

補助科目	金額	割合	協力個人数	協力組織数
企業からの寄付	1,423,253	43.2%		12
個人寄付	365,577	11.1%	27	
奉仕組織・NPO等からの寄付	277,120	8.4%		8
歳末寄付	293,000	8.9%	13	2
ゆうちょ銀行口座からの自動払込寄付	228,600	6.9%	46	
職域での募金、チャリティプログラム	171,533	5.2%		3
オンライン寄付(クレジットカード・ネット銀行)	244,000	7.4%	16	
応援商品寄付	223,000	6.8%		1
募金箱	62,147	1.9%		12

マイバック寄付プログラム	9,873	0.3%		1
合 計	3,298,103	100%	102	39

4. NPOへの助成・技術支援

4-1 神奈川県子ども未来ファンド助成事業の実施

(1) 2012年度助成贈呈式・報告会の開催

助成対象になった事業の紹介と、終了した助成事業の成果を広く広報することを目的に実施しました。

【2012年助成贈呈式・報告会】

開催日程：2012年5月27日開催(土)13時～16時30分

会 場：横浜市青少年育成センター

内 容：2012年助成対象団体紹介・贈呈式、2011年助成活動報告、N.U.ミニライブ

(2) 2012年助成対象団体への技術支援

助成対象団体に、助成金を効果的に活用してもらうことを目的に行い、団体の希望に応じて、専門家とファンド事務局が団体を訪問し相談に応じました。2012年度助成対象団体で、個別に技術支援を希望した団体はありませんでした。

(3) 助成対象団体活動訪問

2012年の助成対象となった9団体の想いや活動を共有するとともに、各団体のノウハウ等を学ぶことを目的に助成対象団体活動訪問会や取材等で訪問し、団体から活動概要の説明を受けた後、質問、話し合い等を行いました。

TIEトマトマの会	(9月2日)
(特非)のむぎ地域教育文化センター	(9月6日)
守りたい・子ども未来プロジェクト実行委員会	(9月7日)
学童保育スキップ鷺沼保護者会	(9月10日)
キララの教室	(9月12日)
(特非)ピアわらべ	(9月13日)
スマイル・オブ・キッズ	(9月13日)
音楽療法ぐるーぷ響	(9月14日)
(社福)杜の会	(9月21日)

(4) 2013年助成選考委員会設置と公募広報、助成説明会の開催

各方面の専門家による2013年神奈川県子ども未来ファンド助成選考委員会を設置し、2013年助成を県内NPOへ広く広報し、助成説明会も行いました。2013年助成も2012年に引き続き、従来の「一般助成」枠に加えて、東日本大震災の被災者を支援する事業を対象とした「震災支援助成」枠を設けて募集を行いました。応募受付期間中は、個別団体からの事前相談に応じました。

応募件数 28件

震災支援13件、外国(籍)児童・生徒への支援5件、障がい児支援2件
病児の家族支援1件、親子のつどい広場2件、一時預かり保育1件、学童保育1件
フリースクール1件、不登校・ひきこもり居場所1件、依存症の居場所1件

【2013年助成選考委員】

委員長：宮林 雄彦氏(大光院代表役員住職)

副委員長：渡辺 誠二氏(一般社団法人ロータリーの友事務所所長)

委員：新井 聡子氏(横浜弁護士会子どもの権利委員会委員)

伊藤 輝子氏(元鶴見大学短期大学部教授)

富樫 匡孝氏(自立生活サポートセンター・もやいスタッフ)

【2013年助成説明会】

日 時：2012年11月16日(金) 15時～17時、18時30分～20時30分

場 所：かながわ県民活動サポートセンター

参加者：9名

内 容：2013年神奈川県子ども未来ファンド助成事業について

応募のための要件 / 助成が決まるまでと助成を受けてからの流れ、手続き

助成団体限定で利用できる運営支援について / 事前相談について

※終了後に、個別相談会を実施

(5) 2013年助成対象団体の選考と助成

28団体から応募(応募総額17,699,000円)があり、2013年神奈川県子ども未来ファンド助成選考委員会の選考に基づき、11団体に総額3,290,000円を助成することを決定し、助成を行いました。

(2012年度助成団体9団体、助成総額298万円、応募団体24団体、応募総額1559万円)

【2013年助成選考委員会開催日時】

日時：2013年2月28日(火)9時30分～14時

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

【2013年助成対象団体一覧】 助成総額 3,290,000円

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	キララの教室 【継続助成】	<外国人(籍)児童・生徒への支援> 外国人(籍)児童生徒への学習支援事業	横 浜	230,000
2	TIE トマトマの会 【継続助成】	<外国人(籍)児童・生徒への支援> トマトマ教室運営 —外国につながる子ども達のための補習教室—	茅ヶ崎	300,000
3	認定特定非営利活動法人 スマイル オブ キッズ 【継続助成】	<患者家族支援> 病児のきょうだい児預かり保育事業	横 浜	500,000
4	特定非営利法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾	<外国人(籍)児童・生徒への支援> 日本語を母語としない子どもたちへの「居場所」を生かした母語&日本語学習	横 浜	200,000
5	日タイを言葉で結ぶ会 ラック パーサー タイ(RPT)	<外国人(籍)児童・生徒への支援> タイにつながりを持つ子ども達のための「母語教室」および「母語を大切に学習サポート教室」開催	横 浜	300,000
6	特定非営利活動法人 さくらザウルス	<親子のつどい広場> さくらザウルス弘明寺ひろば 移転・機能向上事業	横 浜	450,000
7	守りたい・子ども未来 プロジェクト実行委員会 【継続助成】	<震災支援> 守りたい・子ども未来プロジェクト	横 浜	300,000
8	とどろき学習室・よこはま 学習室	<震災支援> 大学生による都会で避難生活を送る 東北の子どもたちのための学習支援	横 浜	400,000
9	福島の子どもたちとともに、 川崎市民の会	<震災支援> 2013保養 in 川崎	川 崎	300,000
10	一般社団法人 アカデミーキャンプ	<震災支援> アカデミーキャンプ2013夏	藤 沢	210,000

11	特定非営利活動法人 湘南市民メディアネットワーク	<震災支援> 映像で子供たちに笑顔を贈る！！	藤 沢	100,000
----	-----------------------------	---------------------------	-----	---------

(6) 子ども分野の外部助成プログラムへの選考協力

全労済地域貢献助成事業の子ども分野プログラムの予備審査作業などに協力しました。

4-2東日本大震災への特別助成の実施

東日本大震災で被災した子どもたちを支援するため、神奈川県内で拠点をもつNPO等が実施するプログラムに対して助成事業を実施しました。

5. 啓発事業

(1) 朗読劇「ハッピーバースデー」2012横須賀公演の開催

子ども達へ生きる勇気を届け、応援の輪を広げるために、昨年に引き続き、様々な組織のご協力、ご協賛を得て「朗読劇ハッピーバースデー～チャリティ公演」を横須賀で開催しました。

【朗読劇「ハッピーバースデー」チャリティ公演2012横須賀】

公演日時：2012年11月10日（土）2回公演（昼13時～、夕17時～）

会 場：横須賀市文化会館（1,098名定員）横須賀市深田台50

主 催：朗読劇「ハッピーバースデー」2012横須賀公演実行委員会、

(株)tvk、(特)神奈川県子ども未来ファンド、(有)オフィス・デュオ、

出 演：内海賢二、野村道子、はやみけい、斎賀みつき、甲斐田裕子、田原アルノ、荻野晴朗、最上嗣生、日野未歩、小橋知子、平井祥恵、中嶋アキ、鈴木晴久、稲川英里

演 出：二瓶紀六

制 作：(有)オフィス・デュオ

原 作：『ハッピーバースデー』（青木和雄・吉富多美共著 金の星社刊）

チケット：2,900円（全席指定）

□観客動員

総動員数：1,500名（昼800名/夕700名 親子招待200名含）

運営ボランティア：100名

□募金総額：1,026,319円（事業収益金901,701円、会場募金91,686円、書籍チャリティ販売収益32,932円）

□会場展開

ア) こぶしの花メッセージボード（出演者・舞台関係者・主催団体関係者・準備会メンバーのメッセージカードをこぶしの花のはなびらへ貼り付けて掲示）

イ) 神奈川の子ども・子育て支援団体・機関の展示

横須賀公演実行委員会参加団体、横須賀市児童相談所、子ども育成部、人権男女共同参画課

ウ) 原作本と原作者・出演者関連書籍のチャリティ販売、原作者サイン会

エ) 2階ロビーにおいて「いじめ・虐待防止に関する啓発展示」（ジェントル・ハート）

オ) 神奈川の子ども・子育てを支える募金活動

神奈川県子ども未来ファンドへの寄付、入会キャンペーン、子どもファンドチャリティグッズ販売

□広 報

ア) 掲載記事

① 神奈川新聞（7/7 虐待他人ごとではない 朗読劇「ハッピーバースデー」横須賀で初上演）

② 読売新聞（10/21 虐待、いじめ 朗読劇に）

③ 東京新聞（10/28 虐待 いじめ 共に考える ベストセラー朗読劇）

④ 毎日新聞（11/6 いじめや虐待テーマに朗読劇）

⑤ 産経新聞（11/8 虐待から再生 少女の姿 朗読劇「ハッピーバースデー」11月10日上演）

⑥ 情報誌ぱど（8/3 7地域分全紙）

イ) 紹介メディア

① tvk スポットCM(8/10～11/9)

② tvk 「ありがとッ！野村道子さん、稲川英里さん出演」(10/19)

③ WEB リンク tvk コミュニケーションズ HP 内

ウ) チラシ制作枚数:130,000枚(A4/90,000枚 A5/40,000枚)

エ) ポスター制作枚数:600枚

オ) その他、ツイッター・フェイスブックでの呼びかけや社内イントラネットを活用した広報活動

□協賛等(敬称略)

協 力：(有)オフィス・アオキ、(株)賢プロダクション、(株)tvkコミュニケーションズ、(株)金の星社、ツルミ印刷(株)、キリンビール(株)、横浜支社、(株)ポンパドウル、横浜新都市交通(株)、横浜高速鉄道(株)

助 成：(財)神奈川新聞厚生文化事業団

協 賛：(株)川口、横須賀市医師会、横須賀市薬剤師会、(株)エイヴイ、横須賀ロータリークラブ、高橋(株)、(株)ポンパドウル、(株)シモジマ、(株)ありあけ、AFLAC首都圏第一総合支社、エバラ食品工業(株)、MDRT神奈川ブロック、三浦藤沢信用金庫、湘南信用金庫、(株)西村企業、(有)日栄建設、日本医療伝道会(衣笠病院)、ワイズメンズクラブ国際協会湘南・沖縄部、タカナシ乳業(株)、(株)京急百貨店、(株)クラチ、キーコーヒー(株)、昭和建設(株)、(株)ガトーよこはま、キリンビールマーケティング(株)、(有)堅総合管理、(株)ダイイチ、三井住友海上火災保険(株)、東京北支店新宿第二支社、神奈川県教職員組合、自治労神奈川県職員組合、連合神奈川、川崎市職員労働組合、全水労神奈川県支部、大光院、永井勝造、中村訓世、匿名数名

後 援：横須賀市、神奈川県、横須賀市教育委員会、神奈川県教育委員会、横須賀市PTA協議会、神奈川県PTA協議会、横須賀市立小学校校長会、横須賀市立中学校校長会、横須賀市教職員組合、(社福)横須賀市社会福祉協議会、(社福)神奈川県社会福祉協議会、横須賀市民生委員児童委員協議会、(公財)横須賀市生涯学習財団、横須賀ロータリークラブ、横須賀商工会議所、所神奈川県商工会議所連合会、(公社)商連かながわ、(財)横浜弁護士会、(公社)横須賀青年会議所、ワイズメンズクラブ国際協会湘南・沖縄部、神奈川新聞社、毎日新聞横浜支局、朝日新聞横浜総局、日本経済新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、東京新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、(株)ぱど、アール・エフ・ラジオ日本、FMヨコハマ、tvk

(2) 各種協議会等への参加

昨年に引き続き「神奈川県子ども・子育て支援推進協議会」等の会議へ参加するとともに、講師依頼や各種審議会・委員会にも対応しました。

【講師・パネリスト等】

NPO がつくる未来	(2012年9月8日)
YMCA 職員研修会での講演	(2012年10月8日)
かながわ非営利組織フォーラム	(2013年3月24日)
NPO サロン研究会	(2013年3月27日)

【各種審議会・委員会】

かながわ寄付を進める委員会
バリアフリーの街づくり推進県民会議
横浜市児童福祉審議会委員
横浜市ワーク・ライフ・バランス実行委員会委員
横浜市ボランティアセンター運営委員 ほか

6. ネットワーク事業

NPO、NPO の推進組織並びに全国の市民ファンド等と連携促進を図るとともに、神奈川県子どもファンドの意義や役割の周知に努めました。

(1) 市民ファンド連絡会設立1周年フォーラム「市民ファンドの価値」(2012年6月25日)

(2) 「市民活動のひろば」第106号への投稿

「市民の思いをNPOへ届けます！！ ―神奈川県子ども未来ファンドの仕組みと寄付集め―」
(2013年1月)

(3) かながわ生き生き市民基金設立準備会の参加 (2012年1月26日、2月9日、23日)

(4) モバイルドコモ ファンド10周年事業記念誌への投稿

(5) かにゃおの世にゃ押し太鼓判プロジェクト(かながわ寄付を進める委員会)へ参画しPR

7. 調査研究事業

2011年度から取り組んでいる遺贈・相続に寄付の仕組みに関する調査研究について、引き継ぎ分析を行った。また、市民ファンドの現状と課題等について、事例収集及び分析を行いました。その他の寄付募集事業に資する調査研究事業については、今年度は実施を見合わせました。

8. 広報事業

(1) NPOデータベースの運営

2011年5月にデータベース更新チームを立ち上げ、神奈川県内の子ども・若者や子育てを支えるNPOを検索できるデータベース「子どもの居場所情報箱(以下「情報箱」)」の更新に努めるとともに、一昨年開設した、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの連携促進を目的とする「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」の管理・運営に努めました。

◆データベース「子どもの居場所情報箱」

<http://www.kodomofund.com/search/index.html>

◆データベース「神奈川の子ども・若者・子育て支援NPOデータベース」

http://kodomofund.com/search/kensaku_index.htm

(2) メールマガジン、広報紙発行、ブログ、ツイッター、フェイスブックによる情報発信

年2回発行の広報紙と月1回発行のメールマガジンを定期発行し、ファンドの活動報告や、寄せられた支援、助成対象団体の紹介などを行いました。また、ブログやツイッター、フェイスブックを活用した、日常的な活動状況の発信に努め、活動の透明性を高めました。

◆メールマガジン 月間+特別号 計13回発行

◆広報紙「ハンズtoハンズ」32号(3,000部)・33号(3,500部)を発行

◆ブログ <http://blog.canpan.info/kodomofund/>

◆ツイッター <https://twitter.com/kodomofund>

◆フェイスブック <https://www.facebook.com/kodomofund>

(3) WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

ア) WEBサイト・携帯サイト、ポータルサイトの運営

昨年度に引き続き、神奈川県子ども未来ファンドWEBサイト・携帯モバイルサイト、子ども、子育ての貢献活動を行う企業等とNPOの情報交流を目的としたポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」を運営し、子ども・若者や子育ての支援を行うNPOの活動情報、各種非営利イベント情報、NPOを対象とした助成金公募情報などの提供、地域貢献活動に取り組む企業情報の発信に努めました。

◆WEBサイト 年度末カウント数(2012年3月31日現在) 169,591(年間28,882カウント)

◆ポータルサイト「神奈川の子ども支援ポータル」 <http://www.kodomofund.com/portal/>

イ) 地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクトへの参加

NPOへの支援や連携、利用を促していくために、NPOの信頼性を高める取組みとして、全国の約20の中間支援組織が連携して各地で設置を進める地域・公益ポータル推進プロジェクトの関東ブロック会議に参加し、神奈川子ども未来ファンドの活動の紹介を行いました。

ウ) ファンド英文 Web ページの作成

ファンドを英文で紹介した Web ページを作成しました。

(4) イベント・キャンペーンでのPR活動

年間を通じて多くの人が集まる機会に出店や展示参加を行い、広く市民や企業、組合等にファンドの認知が高まるよう取り組みました。

【展示・広報・出店等での参加】

ア) モトスミ・ブレイメン通り商店街 子どもの日チャリティイベント

開催日程：2012年5月6日(日)

会 場：モトスミ・ブレイメン通り商店街(川崎市中原区)

参加内容：綿飴の販売、ボーリングミニゲーム、活動紹介、募金活動

主 催：モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合

イ) 児童労働撲滅キャンペーンin神奈川2012

開催日程：2012年5月19日(土)

会 場：横浜そごう新都市プラザ(横浜市西区)

参加内容：広報パネル展示、パンフレット・チラシの配布、パワーポイントによる子どもファンドの紹介

主 催：NTT労働組合

ウ) フリ・フリ・フリマ(青少年のサポートを行うNPOの活動紹介・相談活動)

開催日程：2012年9月8日(土)

会 場：神奈川県立青少年サポートプラザ(横浜市西区)

参加内容：スーパーボールすくい、募金活動、活動紹介

主 催：同実行委員会

エ) モトスミ・ブレイメン通り商店街 フライマーケット

開催日程：2012年10月7日(日)

会 場：モトスミ・ブレイメン通り商店街(川崎市中原区)

参加内容：商店街関係者物品提供によるフリーマーケット・商店街オリジナルストラップ販売、活動紹介、募金活動

主 催：モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合

協 力：モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合・井田みすぎ子ども会

カ) MDRTの研修会でのファンド紹介、募金活動

開催日程：2012年10月10日(水)

会 場：東戸塚第一生命研修センター(横浜市戸塚区)

参加内容：活動紹介、募金活動

主 催：MDRT

キ) YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL 2012

開催日程：2012年10月14日(日)

会 場：赤レンガ倉庫前「象の鼻パーク」(横浜市中区)

参加内容：Song for smileフラッグの作成、ステッカーの販売、子どもや親子の記念写真撮影、活動紹介

主 催：YOKOHAMA ACOUSTIC FESTIVAL実行委員会

ク) ヨコハマWaiWaiフェスタ

開催日程：2012年10月27日(土)

会 場：横浜公園(横浜市中区)

参加内容：募金活動

主 催：同実行委員会(事務局横浜市労働者福祉協議会)

ケ) 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー

開催日程：2012年10月28日(日)

会 場：新港中央広場(横浜市中区)

参加内容：活動紹介

主 催：子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会

コ) 第22回ダンボふれあいバザー

開催日程：2012年11月23日(祝)

会 場：地域作業所ダンボ周辺(横浜市保土ヶ谷区和田町)

参加内容：ブース運営、募金活動

主 催：地域作業所ダンボ・福祉を考える会

カ) 横浜F・マリノス ファン感謝デー トリコロールフェスタ

開催日程：2013年1月26日(土)

会 場：マリノスタウン(みなとみらい地区 新高島町)

参加内容：ボウリングミニゲーム、活動紹介、募金活動

主 催：横浜マリノス株式会社

(6) 広域への情報発信・PR 活動(ラジオ出演1件、新聞タウン誌等報道17件、イベント等参加9件)

【紹介されたメディア】

ア) 毎日新聞(2012年5月28日付)

内容：助成贈呈式に関する記事

イ) 神奈川新聞(2012年7月7日付)

内容：朗読劇「ハッピーバースデー」横須賀公演に関する記事

ウ) 読売新聞(2012年10月21日付)

内容：朗読劇「ハッピーバースデー」横須賀公演に関する記事

エ) 東京新聞(2012年10月28日付)

内容：朗読劇「ハッピーバースデー」横須賀公演に関する記事

オ) 毎日新聞(2012年11月7日付)

内容：朗読劇「ハッピーバースデー」横須賀公演に関する記事

カ) 朝日新聞(2012年11月8日付)

内容：朗読劇「ハッピーバースデー」横須賀公演に関する記事

9. 組織運営、基盤強化に関する取り組み

(1) 通常総会、理事会(5回)、理事推薦委員会(5回)、運営委員会(17回)の開催

神奈川県子ども未来ファンドの各種事業の円滑実施のために、通常総会、理事会及び理事懇談会、運営委員会を開催しました。

ア) 通常総会

日時：2012年5月24日(木)19時～20時30分

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：2011年度事業報告について、2011年度収支計算書について、2012年度事業計画について、2012年度収支予算書について、2013年助成選考委員について

イ) 理事会

① 第1回

日時：2012年5月17日(木)19時～21時

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：2012年助成事業報告について、2011年度事業報告案・決算案について、2012年度事業計画案・収支予算案について、2013年助成選考委員候補者について、2012年度通常総会について

② 第2回

日時：2012年5月24日(月)20時30分～21時

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：法人を代表する理事について

③ 第3回

日時：2012年9月20日(木)19時～21時

場所：神奈川県立青少年センター別館青少年サポートプラザ

議題：2012年度事業の進捗状況と事務局体制について

④ 第4回

日時：2012年11月1日(木)19時～19時30分

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

議題：事務局体制について

⑤ 第5回

日時：2013年3月18日(月)19時～21時

場所：関内ホール

議題：2013年助成対象団体の決定、2014年助成選考委員について(方針の承認)、2012年度決算見込及び2013年度事業計画案・収支予算案について、2013年度通常総会、2013年度助成贈呈式・報告会の開催について

ウ) 理事推薦委員会

ファンドの組織運営及び財政基盤の確立を目指して同委員会を5回開催した。検討結果をふまえて、新理事体制の提案を行った。

① 第1回

日時：2012年8月29日(月)19時～21時

場所：関内ホール

② 第2回

日時：2012年10月2日(火)19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

③ 第3回

日時：2012年11月1日(木)19時30分～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

④ 第4回

日時：2012年11月28日(水)19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

⑤ 第5回

日時：2013年1月16日(水)19時～21時

場所：かながわ県民活動サポートセンター会議室

エ) 運営委員会(全17回)

2012年4/19、5/10、6/14、6/28、7/12、7/26、8/23、9/13、9/27、10/11、10/25、11/15、
12/13

2013年1/17、2/14、2/28、3/14

(2) 若者によるイベントチームの活動

月1回の定例会、各種イベント・キャンペーンへの参加、自主的なイベントの企画・運営などを行うことにより、学生を主体とした若者が交流をしながら、若い力を発揮できるような場をつくりました。

主に取り組んだイベント

ア) ブレーメン通り商店街こどもの日キャンペーン

イ) 児童労働撲滅キャンペーンin神奈川2012

ウ) 新入会員勧誘キャンペーン

エ) N. U. が行く

オ) ヨコハマ・アコースティック・フェスティバル

(3) 若者の社会体験ボランティアの受入れ

ア) 若者の社会体験の機会としてのボランティア受入れ(通年)

横浜若者サポートステーションの事業に協力し、若者の社会体験の機会としてボランティアの受入れを行いました。発送作業や資料印刷などの実務作業、イベント出展等の活動に参加してもらいました。